

飼育日誌

- 6/12 ☀ 今年生まれたイヌワシに、個体識別のためマイクロチップ埋込と体重測定を実施。(第1ヒナ4,100g、第2ヒナ3,100g、第3ヒナ3,150g)
- 6/16 ☞ アシカ「ナナミ」エサのホッケを丸飲みできるようになった。
- 6/18 ☛ カンガルー「ロベルト」死亡。シロフクロウ営巣行動が見られる。
- 6/19 ☛ 今年生まれたライオンに、個体識別のためマイクロチップ埋込と体重測定実施。(第1♂14.7kg、第2♂13.9kg、♀14.2kg)
- 6/21 ☀ イヌワシ第1ヒナ、巣立ちを確認。(76日令)
- 6/23 ☀ チンパンジー「ユミノスケ」♂、「ノリコ」♀ペアと「ココ」♀、「k太郎」♂の同居を行う。
- 6/25 ☀ チンパンジー「ユミノスケ」♂、「ノリコ」♀ペアと「ココ」♀、「k太郎」♂の2回目の同居を実施。「ユミノスケ」♂が興奮し「ココ」♀を激しく追いまわし同居失敗。
- 6/26 ☀ イヌワシ第2ヒナ、巣立ちを確認。(77日令)
- 6/29 ☀ イヌワシ第3ヒナ、巣立ちを確認。(76日令)
- 7/9 ☛ コモンマーモセット出産。
- 7/11 ☛ セントクロイ「ビビ」♂誤嚥性肺炎のため死亡。
- 7/16 ☛/☞ コモンマーモセット9日生まれの赤ちゃん死亡。(♂、体重25.5g)
- 7/19 ☀/☞ モモイロペリカン、脱出防止のため伸びてきた風切り羽を切羽。
- 7/25 ☛/☞ シュバシコウ繁殖個体、巣立ち確認。
- 7/27 ☀ レッサーパンダ、2005年生まれ「飲飲」♂を2004年生まれ「風」・「陸」兄弟と同居。サフォーク(雑)「KABA」死亡。
- 8/5 ☀ 「サマースクール」1回目
- 8/7 ☀ 「サマースクール」2回目
- 8/12 ☀/☛ ニホンリス、巣箱内にて赤ちゃんを確認。
- 8/14 ☀ 「夜の動物園」1日目
- 8/15 ☀ 「夜の動物園」2日目
- 8/16 ☀ 「夜の動物園」3日目
アビシニアコロブス♂、朝から横臥しぐったりしている。
ニホンリス、赤ちゃん1頭死亡しているのを確認。
- 8/17 ☀ 「夜の動物園」最終日
- 8/18 ☀/☞ アビシニアコロブス♂、動けるようになった。
トナカイ♂、熱中症にかかり治療。
- 8/19 ☀ トナカイ♂、朝死亡を確認。
- 8/28 ☛/☞ モモイロペリカン、脱出防止のため伸びてきた風切り羽を切羽。
- 8/31 ☀ アメリカビーバー♀、展示場にて事故死。
ワビチ♂、角の皮がほとんど剥け目つきがやや鋭くなってきた。
ベンガルトラ「マドンナ」♀、食欲不振が続き下痢をしている。
- 9/1 ☀ ライオン「ヴェヴェ」♂、歩行がぎこちないためCaの投与をする。
- 9/2 ☀ ライオン「ヴェヴェ」♂麻酔下にて治療。
ベンガルトラ「マドンナ」♀、元気が無く残餌有り。
- 9/7 ☛/☞ タンチョウ「嘴有り」♂、体重測定と採血実施。(体重7.54kg)
- 9/14 ☀ ベンガルトラ「マドンナ」♀、死亡。
- 9/15 ☀ 飼料作物「スダックス」秋田市立浜田小学校3年生との共同刈り取り実施。
- 9/16 ☛ カンガルー「赤ちゃん」袋から尾だけ出していた。
- 9/17 ☛ コクチョウ、1個産卵確認。
- 9/18 ☞/☀ 動物愛護フェスティバル開催
台風13号による、強風のためコウノトリ、シュバシコウ展示場から避難させる。
- 9/20 ☀ 台風の影響が無くなったのでコウノトリを展示場へ。
ライオン「ヴェヴェ」♂、元気になったので久しぶりに3頭一緒に展示場へ出す。
- 9/21 ☀ 人工哺育中のチンパンジー「J太郎」を他のチンパンジーとの同居訓練のため病院からチンパンジー舎へ移動する。
- 9/22 ☀ ワビチ(長男)2005年生まれ♂、父親を警戒し柵の間に逃げこんでいる。
- 9/24 ☀ チンパンジー「J太郎」♂、「ノリコ」♀が展示場にいる間にノリコの室内で過ごす。
ワビチ長男、父親から攻撃をうけ負傷。抗生物質投与。
- 9/27 ☀ チンパンジー「J太郎」♂と「ノリコ」♀、部屋越しに見合いを行う。
- 9/28 ☛ ワビチ父親単独展示のため移動。母親と長男、今年生まれの個体3頭同居。
ライオン「ミミ」♂、元気が無く歩行困難なため治療開始。
- 10/1 ☀ リス♀、死亡しているのを確認。

2006 飼育動物数 (平成18年8月末現在)

哺乳類	62種類	363点
鳥類	60種類	246点
爬虫類	14種類	38点
両生類	4種類	17点
魚類	4種類	24点
合計	144種類	688点

編集後記

「ホットインフォメーション」で紹介しましたジャズフェスタ。実行委員会を立ち上げての初の試みであり準備に非常に大変な苦労をしましたが、最後に救ってくれたのはお客様のステージを見つめる熱いまなざし、そして鳴りやまない盛大な拍手でした。今後も当園では新しい事にどんどんチャレンジいたしますので皆様どうぞ応援よろしくお願いします！

阿部 杏子

